

D031-019

会場：C416

時間：5月30日 14:18-14:30

駿河湾での海底地殻変動長期繰り返し観測

Long-term and Repeated Observations of Ocean Bottom Crustal Deformation at the Suruga Bay

三宅 学[1], 田所 敬一[2], 佐藤 一敏[3], 奥田 隆[4], 安藤 雅孝[5]

Manabu Miyake[1], Keiichi Tadokoro[2], Kazutoshi Sato[3], Takashi OKUDA[4], Masataka Ando[5]

[1] 名大・環境, [2] 名大・地震火山セ, [3] 京大・防災研, [4] 名大・理・地震火山センター, [5] 名大・理
[1] Graduate School of Environmental Studies, Nagoya Univ, [2] RCVS, Nagoya Univ., [3] RCEP, DPRI, Kyoto Univ., [4] SV Center Sci.Nagoya Univ, [5] RCSV, Science, Nagoya Univ.

海底での地殻変動観測は、プレート境界で発生する巨大地震の発生機構を解明する上で、非常に重要である。名古屋大学ではキネマティック GPS 測位と海中音響測距を組み合わせることによって、1cm 程度の位置決定精度を目指し、海底地殻変動観測システムの開発を行なっている。

今年度より、長期の繰り返し観測を開始した。本年2月、駿河湾内（水深約1000m）に海底局を2個沈め、2回にわたり、音響測距を行なった。その結果について報告する。